

四島のかけ橋

第58号
平成28年1月1日
(金曜日)

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-210-1111 内線3618
発行人 綾井 祐一

第三十二回県民大会を開催

会場は横浜情報文化センター

平成二十七年十一月二日(月)、横浜市中区の「横浜情報文化センター」情文ホールにおいて、第三十二回北方領土返還要求運動神奈川県民大会を開催しました。

会員をはじめ百六十六名が参加した今大会では、主催者の土井会長の挨拶の後、来賓の吉川神奈川県副知事、また、所用により欠席した独立行政法人北方領土問題対策協会の荒川理事長に代わり石田精司事務局長から、当県民会議の活動への敬意と今後の運動への激励のお言葉を頂きました。

続いて、山下郁雄氏(日本労働組合総連合会神奈川県連合会)が、平成二十七年七月二十三日から二十七日に行われた、北方四島交流訪問事業の参加報告を行いました。国後島・色丹島を訪問した際の、日本人墓地への墓参りや街の様子、在住しているロシア人との交流で感じたことなどについて、映像を交えて報告していただきました。

次に、山本一史氏(神奈川県外国語学部)が、平成二十七年九月一日から九月四日に行われた戦後70年北方領土を考える集いの参加報告を行いました。全国の大学生が集まり行われたゼミナールでの議論等について報告していただきました。記念講演は、NHK放送

センター解説委員室の石川一洋氏から「歴史から見た日ロ関係と安倍対ロシア外交の展望」について、山本一史氏(神奈川県外国語学部)が、平成二十七年九月一日から九月四日に行われた戦後70年北方領土を考える集いの参加報告を行いました。全国の大学生が集まり行われたゼミナールでの議論等について報告していただきました。記念講演は、NHK放送

二月七日(日)は「北方領土の日」

一八五五年の二月七日(旧暦では安政元年十二月二十一日)、伊豆の下田において日露通好条約が調印されました。この条約で日露両国の国境が平和裏に定められ、北方四島が日本の領土として初めて国際的に明確にされたのです。そう

昨年、プーチン・ロシア大統領が来日、「日露首脳会談」が開催される予定でした。しかし来日はありませんでした。現在ロシアの国境は非常に厳しく、政治、外交、経済など難題が山積されているようです。昨年十一月に北方領土問題対策協会主催による「都道府県民会議代表者全国会議」が開催され、その中で外務省による「ロシア情勢と日露関係」という講演がありました。その概要を報告します。①二〇一四年三月のクリミア併合後、プーチン大統領は、愛国主義的傾向を強める国民世論の圧倒的な支持を獲得。②言論の自由・報道の自由に対する制約が更に強化され、政権批判を行い難い雰囲気になっていること。③経済現像は、「遅れた産業構造・エネルギー依存経済」。株価・ルーブルは、原油価格

講演要旨 「歴史から見た日ロ関係と 安倍対ロシア外交の展望」

NHK放送センター解説委員室 解説主幹 石川 一洋氏

本日の講演は、ロシアとはどういふ国か、北方領土はなぜ我々の領土なのか、この問題がどうして起きたのか、そして交渉の現状についての話をします。

神が国を守るといふ国歌が、百八十度転換して、国家を否定する労働歌が国歌になりました。

最初に、ロシアの二十世紀とロシアの国歌がどう変わったのかについて考えてみます。ロシア帝国国歌は、「神よ、皇帝閣下をお守り給え(God save the Tsar)」という内容でした。ロシア帝国は正教、専制、国土という巨大な国でしたが、レ

プーチン大統領の時代に、一九九八年ごろに最低になり、それがプーチン時代になって回復していきます。エリツィンが突然辞任して、プーチンが大統領代行になると、どん底まで落ちたロシアに対して、「安定と愛国心」を訴えました。革命の混乱の後に国を安定させる政治家としての役割、つまり「反動政治家」

一九九一年二月、民族自立の動きの中でソビエトが崩壊します。このときはモスクワにいて、この瞬間を目の当たりにしました。ソビエトはロシア、ウクライナ、ベラルーシ、その

ロシアは政治的に巨大な国から一つの独立した国家になり、社会主義経済から市場経済へ移行し、中央集権的な独裁体制から国際社会に開かれた民主国家になるという三つのトランジション(移行)を同時にやらなければならなりません。

た独ソ戦の初期ソビエトは大敗します。スターリンは愛国心を奮い立たせるため国歌を変えました。その歌詞の中でソビエトの中でそれまで敵視してきたロシア愛国主義を復活させました。ソビエトが崩壊するまでその国歌が続きました。

一九九一年二月、民族自立の動きの中でソビエトが崩壊します。このときはモスクワにいて、この瞬間を目の当たりにしました。ソビエトはロシア、ウクライナ、ベラルーシ、その

2016

国後島最高峰 爺爺岳



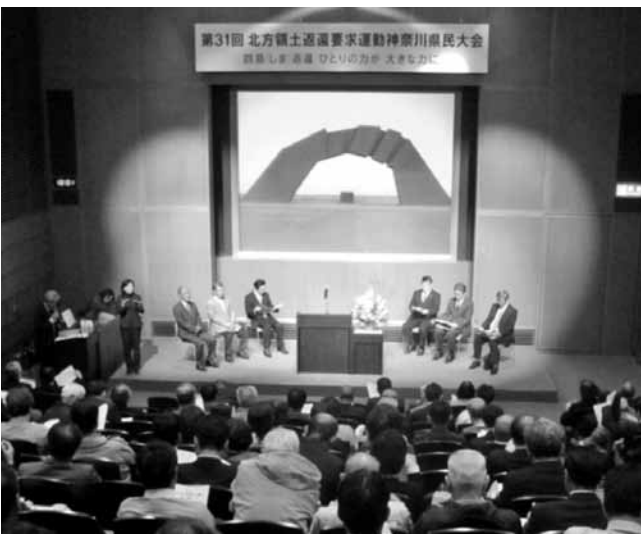
の役目をプーチンは果たしました。こうしたロシアと今、我々は向かい合っています。さて、なぜ北方領土が我々の領土なのでしょう。国際法としては一八五五年の日露通好条約で確定しています。この条約の原文は、関東大震災で焼失し日本には残っていませんが、ロシアの公文書館には残されていて、ロシアと日本の国境は、択捉島とウルップ島の間にすると明確に書かれています。もちろん、その前から日本が実効支配していましたが、この条約は、平和的な交渉、国際条約によって国境線を画定したもので、日本の外交史に

の下落が大きく影響、昨年六月との比較で約五十%下落。④「ウクライナ問題」では米・EUはロシアに対して、資産凍結・金融、防衛、エネルギーなどの対露制裁が行われている。⑤シリアにおけるロシア軍の介入でシリア・アサド大統領支持など欧米や我が国とのスタンスの違いなど。また、トルコによる軍用機墜落問題では、この原稿を書いている十二月「ロシアのプーチン大統領は三日、トルコによる軍用機墜落は戦争犯罪であると主張し、さらなる制裁を加える意向を明らかにした。問題の深刻化と長期化は避けられない見通しだ。」など、プーチンにとっては北方領土どころではないのかも知れません。しかし現在我が国とロシアの間で日露次官級協議が行われており早期の首脳会談を行い、一歩でも返還の前進を期待したいと思います。

(綾井)

的に開かせることによつて日本との良好な関係を築いていくということでした。これが今の日ロ関係の原点です。帝政ロシアによる略的長期的視点に基づく外交といえます。

「北方領土は固有の領土」というのは、日本人にとつて非常に分かりやすく正しい表現ですが、外国の方に説明するときには、これだけでは足りません。『古事記』にもあるように、我々は約一六〇〇年前から、このあたりは日本人のものだという感覚を持って生き続けてきた民族です。しかしアメリカやロシアやドイツなどの大陸国家にとつては領土というのは移り変わる



県民大会の様子

ものです。外国人に対しては、国際法的に正当な我々の領土だということを説明する必要があります。今の北方領土問題とウクライナ問題には、スターリンという共通点があります。ニコライ一世の長期的な大局的な外交に対して、スターリンは非常に短期的で単眼的でした。スターリンは第二次大戦の勝利者で、領土を拡大しました。拡大した領土は、樺太など東だけではなく、西でも西部ウクライナやバルトにも及びました。

私は一九九〇年に西部ウクライナを取材しました。倉庫にレーニン像が転がっていました。まだソビエト時代です。そして一年後にソビエトが崩壊しました。スターリンの過ちは、ロシアにとつて全く異質な西ウクライナ、反ロシア的なものをソビエトの中に組み込むことによつて、結局は崩壊を招いたということだと思います。そして、もう一つの過ちは、ヤルタ協定から終戦間際の対日参戦で領土を拡大しましたが、それによつて日本との友好関係を失ったということだと思います。ニコライ一世が行った領土は妥協しても平和裏な外交を行つて日本と友好関係を築くという長期的な外交とは極めて対照的な、短期的な単眼的な外交でした。

北方領土交渉の現状は非常に厳しいです。九月に、岸田外務大臣がモスクワに行きラブロフ外相と交渉しましたが、主張は真正面から対立しました。その後、日ロ次官級協議が行われましたが、ロシア側は、第二次大戦の結果ロシア領だと主張し、日本は、法的にも歴史的にも日本の領土であると対立しています。しかし、両国間にはさまざまな合意もあります。一九五六年度の国際条約である日ソ共同宣言、その後の東京宣言、イルクーツク声明、日ロ行動計画、最近では、安倍総理の二〇一三年の訪ロなどです。一貫して合意しているのは平和条約交渉の継続で

その中には領土問題を含むことを合意しているのです。一九五六年度の日ソ共同宣言は非常に誤解されている。二島で妥協したという学者もいますが、それはロシア寄りの解釈です。日ソ共同宣言の第九項ソ連は、平和条約締結後に歯舞、色丹を引き渡すということに約束しました。これは皆さ

んご存知です。しかしそれと同様に重要なことが書かれています。その前に「五六年の宣言調印後も、平和条約交渉を継続する」と明記しているのです。しかも宣言締結前に、当時の日本とソビエトの全権代表が、平和条約締結後も領土交渉を継続するという交換公文を交わしているのです。つまり日ソ共同宣言は二島ではなく領土交渉継続で合意した文書であることは明らかです。

次に一九九三年の東京宣言です。五六年共同宣言と九三年の東京宣言は、全く矛盾する文書ではなく、継続して相補する文書です。五六年共同宣言には「平和条約交渉を継続する」と書いてありますが、それがどういふ交渉なのかを明確に定めたのが九三年の東京宣言です。つまり、日ロの平和条約とは四島の帰属の問題をこれまでの合意と法と正義の原則に基づき解決して締結するとしています。

安倍プーチンの一番最後の合意文書は、二〇一三年四月の共同声明です。重要なのは、平和条約がないのは異常だということ。今後の外交交渉の役目は、両首脳にたまたま台を出させてということに合意しています。不運なことに、安倍プーチンの交渉がようやく始まるうとしたときに、ウクライナ問題が起こりました。ウクライナ危機の中での安倍政権の対ロシア方針は、四点あります。▼G7の一体性を重視して、力による現状変更は認めない▼ロシアビジネスで欧米の経済制裁の隙をつくようなまねはしない▼北東アジアの戦略環境は中国が台頭し、ヨーロッパと大きく異なる。中ロとの二正面対決は避けたい▼北方領土問題が存在し、ロシアとの平和条約交渉は続ける。中ロ接近を意識した外交方針となっています。

今現在の状況は、二〇一四年二月のソチの首脳会談以降、去年のAPECでの日ロ首脳会談一回だけで、いまだにその訪日は実現していません。その中でプーチンは、愛国主義を出して強硬姿勢をとりました。八月にメドベージェフ首相が北方領土を訪問しましたが、これは北方領土に対する強硬姿勢を示すことであり、日本側は平和条約交渉

の誘いをかけているという面もあります。九月に日ロ首脳会談がニューヨークで行われ、プーチン大統領の適切な時期での訪日に向けて準備することで合意しました。領土問題は、双方に受け入れ可能な解決策を作成するための交渉をすること、合意していますが、立場は対立したままです。

どう描くかを、我々の側でも考えなくてはなりません。ロシアは日本にとつて大事な国であるし、ロシア人の頭脳、資源、日本人の頭脳、資金、技術が組み合わさればすばらしい協力関係が生まれます。領土交渉が進むのであれば、並行して踏み出して動かしていかなければなりません。

NHKとしても、現地の釧路放送局で北方領土プロジェクトというホームページを作つて、取材した映像を公開しています。元島民の証言を聞いてみて、私たち自身あるいは親、祖父、そうした日本国民が生活した歴史が固有の領土を作っているかと実感します。我々も公共放送として、元島民の証言や生活の記録を歴史の資料として保存し、北方領土返還運動に貢献していきたいと思っています。

二月の「北方領土返還運動全国強調月間」の期間、相鉄線・横浜市営地下鉄グリーンライン・神奈中バスの一部の車両で、北方領土に関する啓発映像を放映します。

重ねる対話 つなげる熱意で 四島返還

平成二十七年度 北方領土に関する標語 〈最優秀賞〉

宮崎県宮崎市 和田 勉さん

相鉄線・横浜市営地下鉄グリーンライン・神奈中バスで北方領土に関する県民会議のCMが流れます!!



神奈中バス「かなチャンネル」

一回三十秒のCMが、相鉄線は全線で五十両の車両、横浜市営地下鉄グリーンラインは六十四両の車両、神奈中バスは横浜地区、厚木・綾瀬地区、相模原地区、藤沢・茅ヶ崎地区の三百四十台の車両で流れる予定です。ご乗車の際には、車内映像広告にご注目ください。

石川一洋氏 プロフィール

○NHK放送センター解説委員室 解説主幹
○東京国際部、モスクワ支局長などを歴任しNHK放送センター解説委員室へ。
○連邦崩壊のNHKスペシャルで菊池寛賞、核汚染のNHKスペシャルで放送文化基金賞受賞
○東京大学文学部ロシア語ロシア文学科卒業
○専門はロシア、日ロ関係、中央アジア、コーカサス、エネルギー



編集後記

◇昨年の県民大会はNHK解説主幹の石川一洋氏を招き「歴史から見た日ロ関係と安倍対ロシア外交の展望」と題してロシアの歴史、経済、政治、ウクライナ問題などロシアについて深くかつ広く講演をいただきました。また、北方領土視察に参加した日本労働組合総連合会神奈川県連合会の山下郁雄氏から国後島と色丹島の様子を動画で詳しく紹介されました。更に「戦後70年北方領土問題を考える集い」が北方領土隣接地域一市四町(根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町)で開催され神奈川大学・外国語学部の山本一史氏が参加し北方領土に関する見識を深め、今後機会をとらえて北方領土問題について大学などで話していきたいと発表がありました。(綾井)